

紫式部の祈り

擁護者と芸術家

2024年
3月3日

受付 12時～14時30分

11時 神楽
12時 神楽
14時 神楽
14時30分 片岡社参拝
対談(～16時)
奥山景布子(紫式部)

会費 5,000円(お茶・お菓子付き)
会場 賀茂別雷神社(上賀茂神社) 庁屋

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山339番地
tel. 075-781-0011

× 坂井昇(藤原道長)
× 諫山宝樹

〔後援〕 京都市・京都市観光協会・古典の日推進委員会
〔協力〕 賀茂別雷神社・黙楽庵なかじ・黒田装束店・株式会社京かつら今西
〔協賛〕 Doris Dream TEA・Junko FUKUMOTO・株式会社リカバリ



絵: 日本画家 坂井昇

ご予約
問い合わせ

【主催】株式会社アークコーポレーション
〒602-8158 京都市上京区中務町下立売通智恵光院西入中務町486

tel. 075-821-7200
<https://www.kk-ark.jp>





奥山 景布子 おくやま きょうこ

名古屋大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。主な研究対象は「源氏物語」「とはずがたり」などの平安・鎌倉時代の仮名文学。小説家としては、2007年に「平家蟹異聞」で第87回オール讀物新人賞を受賞。'09年、受賞作を含む『源平六花撰』で単行本デビュー。'18年、『葵の残葉』で第37回新田次郎文学賞、第8回本屋が選ぶ時代小説大賞を受賞。『元の黙阿弥』『葵のしづく』『やわ肌くらべ』『浄土双六』など著書多数。またNHKカルチャー講師として「源氏物語」などを数年にわたり出講。近刊は『フェミニスト紫式部の生活と意見～現代用語で読み解く「源氏物語」～』『ワケあり式部とおつかれ道長』。



坂井 昇 さかい のぼる

京都在住。代表作には、源氏物語全五十四帖をゆかりの花で表現し、千年紀の折に上賀茂神社に展示された「源氏花物語」がある。また、円山応挙がかつて襖絵を描いた名刹三井寺に10年がかりで描き奉納した襖絵『近江八景』も有名。
1950年 京都の呉服商に生まれる
1975年 武蔵野美術大学日本画科卒業
2011年 ユニセフグリーンティングカードに作品を提供
2018年 京都祇園祭 菊水鉦 献画
2019年 葵祭に際し上賀茂神社に『賀茂競馬(かもくらべうま)』奉納
2022年 京都市市民憲章 受賞



諫山 宝樹 いさやま たまじゅ

大阪生まれ。京都在住。
2003年 京都市立芸術大学日本画専攻卒業
2005年 同大学院保存修復専攻修了。大学院在学中より東映京都撮影所にて様々な時代劇の襖絵等の制作に携わる。
2014年 日本図案家協会主催日図展にて京都市琳派賞 受賞
2015年 独立後、主に京都にて寺社への奉納や定期的な作品公開、広告媒体への作品提供等活動の幅を広げている。
2019年 連続テレビ小説『スカーレット』絵付・日本画指導
2021年 八坂神社 新年干支大絵馬 奉納
2022年 正寿院 本堂襖絵21面 奉納
金峯山寺 蔵王権現像『蒼』奉納
2024年 NHK 大河ドラマ『光る君へ』衣装人物画担当

「源氏物語」には、賀茂別雷神社にまつわる事柄がいくつも登場します。式部はここで何を祈ったのでしょうか？恋の成就、子の成長、そして物語の完成……。さて、現実の世界で彼女の人生を大きく左右したのは、神ならぬ藤原道長の存在です。権力者道長は、【作家】紫式部の擁護者でもありました。二人の関係性とはどんなものだったのでしょうか？紫式部に心を寄せる三人が熱く語ります。



上賀茂神社 庁屋(北神饌所)【重要文化財】

神事のお供えものである神饌を調理したり、神職たちが集まって会議をする場所として用いられていました。

上賀茂神社第一摂社 片岡社【重要文化財】

片岡社の絵馬は葵の葉が象られ、「ほととぎす声まつほどは 片岡の もりのしづくに 立ちやぬれまし」(『新古今和歌集』巻第三 夏歌)とそれにちなんで紫式部とほととぎすの絵が描かれています。拝殿の御鈴は15個の小鈴が散りばめられた新しい御鈴で、金色に輝き拝礼ごとに澄んだ音を聞かせてくれます。

